平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月5日

上場会社名　株式会社 福井銀行　　上場取引所　東
コード番号　8362　URL　http://www.fukuibank.co.jp
代表者　(役職名) 代表執行役頭取　(氏名) 伊東　忠昭
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理グループマネージャー　(氏名) 上野　吉弘　TEL 0776-24-2030

四半期報告書提出予定日　平成25年2月7日　特定取引勘定設置の有無　無
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	34,555	△4.8	△11,137	―	△9,225	―
24年3月期第3四半期	36,308	2.6	11,597	22.6	8,263	63.7

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　△7,614百万円　(―%)　24年3月期第3四半期　10,605百万円　(69.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△38.74	―
24年3月期第3四半期	34.54	34.52

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	2,225,351	113,143	4.4
24年3月期	2,236,727	122,149	4.8

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　98,773百万円　24年3月期　107,667百万円

(注)「自己資本比率」は(期末純資産の部合計-期末新株予約権-期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	2.50	―	3.50	6.00
25年3月期	―	2.50	―		
25年3月期(予想)				2.50	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	△15,500	―	△13,700	―	△57.53

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	243,446,697 株	24年3月期	243,446,697 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	4,595,921 株	24年3月期	5,837,638 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	238,105,572 株	24年3月期3Q	239,218,061 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期レビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績の予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。(詳細は【添付資料】P.2「1.(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。)

【添付資料】

目　　次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7
４．補足情報 …… 8
（１）損益の状況（単体） …… 8
（２）金融再生法ベースのカテゴリーによる開示（単体） …… 9
（３）自己資本比率（国内基準） …… 9
① 単体 …… 9
② 連結 …… 10
（４）時価のある有価証券の評価差額（単体） …… 10
（５）預金、貸出金等の状況（単体） …… 10
① 預金等・貸出金の残高 …… 10
② 個人・法人別預金残高 …… 11
③ 預り資産残高 …… 11
④ 消費者ローン残高 …… 11
⑤ 中小企業等貸出金残高・比率 …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間の連結経営成績につきましては、経常収益は、貸出金利息の減少を主因に、前年同期比17億53百万円減少し345億55百万円となりました。また、経常費用は、貸倒償却引当費用の増加を主因に、前年同期比209億81百万円増加し456億92百万円となりました。

この結果、経常損益は前年同期比227億35百万円減少し111億37百万円の経常損失となり、四半期純損益は前年同期比174億88百万円減少し92億25百万円の四半期純損失となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の連結財政状態につきましては、総資産は前連結会計年度末比113億円減少し２兆2,253億円、純資産は前連結会計年度末比90億円減少し1,131億円となりました。

主要勘定につきましては、貸出金は、事業性貸出金の減少を主因に、前連結会計年度末比162億円減少し１兆4,089億円となりました。譲渡性預金を含めた預金等は、個人預金の増加を主因に、前連結会計年度末比81億円増加し２兆202億円となりました。また、有価証券は、前連結会計年度末比390億円減少し5,860億円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期通期の連結業績予想につきましては、有価証券関係損益が計画を上回ることや貸倒償却引当費用が当初計画を下回る見込みであることから、通期の経常損益及び当期純損益の予想を上方修正いたします。

平成25年3月期連結業績予想

（単位：百万円）

	経常収益	経常利益	当期純利益
当初発表予想（A）	43,100	△19,000	△16,900
今回修正予想（B）	43,100	△15,500	△13,700
増減額（B）－（A）	－	3,500	3,200

（参考）

平成25年3月期個別業績予想

（単位：百万円）

	経常収益	経常利益	当期純利益
当初発表予想（A）	36,100	△21,000	△17,900
今回修正予想（B）	36,100	△17,500	△14,700
増減額（B）－（A）	－	3,500	3,200

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当第３四半期連結累計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

なお、従来、連結の範囲に含めておりました福銀オフィスサービス株式会社は、平成24年９月25日に清算結了いたしました。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の処理

連結子会社の税金費用は、当第３四半期累計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当行及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第３四半期連結累計期間の経常損失及び税金等調整前四半期純損失は、それぞれ13百万円減少しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
現金預け金	60,122	72,631
コールローン及び買入手形	62,076	91,267
買入金銭債権	1,542	1,438
商品有価証券	437	232
金銭の信託	5,500	5,552
有価証券	625,103	586,096
貸出金	1,425,216	1,408,984
外国為替	4,190	5,964
その他資産	23,926	25,136
有形固定資産	22,898	21,984
無形固定資産	870	1,026
繰延税金資産	7,027	9,403
支払承諾見返	12,902	12,857
貸倒引当金	△15,089	△17,224
資産の部合計	2,236,727	2,225,351
負債の部		
預金	1,953,128	1,926,380
譲渡性預金	58,980	93,904
コールマネー及び売渡手形	29,400	－
借用金	28,191	46,679
外国為替	118	146
社債	10,000	10,000
その他負債	12,631	13,723
賞与引当金	216	2
役員賞与引当金	23	－
退職給付引当金	4,896	4,912
睡眠預金払戻損失引当金	262	97
偶発損失引当金	425	338
再評価に係る繰延税金負債	3,400	3,164
支払承諾	12,902	12,857
負債の部合計	2,114,577	2,112,208
純資産の部		
資本金	17,965	17,965
資本剰余金	2,644	2,630
利益剰余金	76,245	65,863
自己株式	△1,317	△1,040
株主資本合計	95,537	85,418
その他有価証券評価差額金	6,242	7,777
繰延ヘッジ損益	△0	－
土地再評価差額金	5,887	5,577
その他の包括利益累計額合計	12,130	13,354
新株予約権	29	45
少数株主持分	14,452	14,324
純資産の部合計	122,149	113,143
負債及び純資産の部合計	2,236,727	2,225,351

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）
経常収益	36,308	34,555
資金運用収益	23,592	22,551
（うち貸出金利息）	18,328	17,163
（うち有価証券利息配当金）	4,873	5,080
役務取引等収益	5,129	4,994
その他業務収益	5,702	5,607
その他経常収益	1,883	1,401
経常費用	24,710	45,692
資金調達費用	1,043	782
（うち預金利息）	863	574
役務取引等費用	1,591	1,633
その他業務費用	4,757	4,855
営業経費	15,546	15,832
その他経常費用	1,772	22,588
経常利益又は経常損失（△）	11,597	△11,137
特別損失	1,259	1,155
固定資産処分損	29	19
減損損失	1,229	1,135
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	10,338	△12,292
法人税、住民税及び事業税	943	62
法人税等調整額	559	△3,212
法人税等合計	1,503	△3,149
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	8,835	△9,143
少数株主利益	571	82
四半期純利益又は四半期純損失（△）	8,263	△9,225

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	8,835	△9,143
その他の包括利益	1,770	1,528
その他有価証券評価差額金	1,274	1,528
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	495	－
四半期包括利益	10,605	△7,614
親会社株主に係る四半期包括利益	10,028	△7,690
少数株主に係る四半期包括利益	577	75

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

４．補足情報

（１）平成２５年３月期第３四半期　損益の状況（単体）

○当第 3 四半期のコア業務純益は、貸出金利息の減少を主因に、前年同期比 10 億 85 百万円減少し、85 億 52 百万円となりました。
○経常損益は、貸倒償却引当費用が増加したこと等から、前年同期比 232 億 30 百万円減少し、128 億 35 百万円の経常損失となりました。
○また、四半期純損益は 101 億 4 百万円の四半期純損失となりました。なお、平成 25 年３月期通期の業績予想につきましては、順調に推移していることから、上方修正しております。

（単位：百万円）

	平成２４年３月期 第３四半期 （９か月間） （A）	平成２５年３月期 第３四半期 （９か月間） （B）	前年同期比 （B）－（A）	平成２５年３月期 通期業績予想 （１２か月間）
経常収益	30,581	28,574	△ 2,007	36,100
業務粗利益	25,238	24,170	△ 1,067	
資金利益	22,039	21,336	△ 702	
役務取引等利益	2,497	2,392	△ 105	
その他業務利益	701	442	△ 259	
（うち債券関係損益）	493	246	△ 247	
経費（除く臨時処理分）	15,108	15,372	264	
うち人件費	7,423	7,674	251	
うち物件費	7,010	6,946	△ 64	
うち税金	674	752	77	
コア業務純益 ※	9,637	8,552	△ 1,085	9,500
①一般貸倒引当金繰入額	－	2,929	2,929	
業務純益	10,130	5,869	△ 4,261	
臨時損益	264	△ 18,704	△ 18,968	
うち株式関係損益	△ 141	△ 572	△ 430	
②うち不良債権処理額	1,454	19,408	17,954	
（貸倒償却引当費用①＋②）	1,454	22,337	20,883	
③うち貸倒引当金戻入益	431	－	△ 431	
④うち償却債権取立益	940	745	△ 194	
⑤うち偶発損失引当金戻入益	22	87	64	
経常利益（△は経常損失）	10,395	△ 12,835	△ 23,230	△ 17,500
特別損益	△ 1,258	△ 1,002	256	
うち減損損失	1,229	1,135	△ 93	
税引前四半期純利益（△は税引前四半期純損失）	9,136	△ 13,837	△ 22,973	
法人税等	1,149	△ 3,733	△ 4,882	
四半期（当期）純利益（△は四半期（当期）純損失）	7,987	△ 10,104	△ 18,091	△ 14,700

与信関係費用①＋②－③－④－⑤	60	21,505	21,444

（注）１．記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
２．コア業務純益 ＝ 業務純益 ＋ 一般貸倒引当金繰入額 － 債券関係損益

（２）金融再生法ベースのカテゴリーによる開示（単体）

○金融再生法ベースのカテゴリーによる開示債権は、平成 24 年９月末比 16 億円減少し、516 億円となりました。また、総与信に占める割合は平成 24 年９月末比 0.08 ポイント低下し、3.57％となりました。

（単位：億円）

	平成24年9月末（A）	平成24年12月末（B）	増減（B）－（A）
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	126	117	△ 8
危険債権	398	393	△ 5
要管理債権	7	4	△ 2
合　　計	532	516	△ 16

総与信に占める割合	3.65％	3.57％	△ 0.08％

（注）1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。
2. 各四半期末（期末）の債務者区分（※）に基づく対象債権残高に対し、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第４条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しております。
なお、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」のうち、無価値と認められる部分については直接償却相当額として当該金額を減額（部分直接償却）しております。

※債務者区分との関係：破産更生債権及びこれらに準ずる債権（実質破綻先、破綻先の債権）
危険債権（破綻懸念先の債権）
要管理債権（要注意先のうち、元本又は利息の支払が３カ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権）

（３）自己資本比率（国内基準）

○単体自己資本比率は、平成 24 年９月末比 0.34 ポイント上昇し、11.32％となりました。連結自己資本比率は、平成 24 年９月末比 0.35 ポイント上昇し、11.78％となりました。

（注）記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

① 単体

（単位：億円）

	平成24年9月末（A）	平成24年12月末（B）	増減（B）－（A）
自己資本比率	10.98%	11.32%	0.34%
うちＴｉｅｒⅠ比率	8.96%	9.31%	0.35%
基本的項目（Ｔｉｅｒ Ⅰ）	891	934	42
補完的項目（Ｔｉｅｒ Ⅱ）	201	201	0
控除項目	－	－	－
自己資本計	1,093	1,136	42
リスク・アセット	9,950	10,032	81

② 連結　（単位：億円）

	平成24年9月末（A）	平成24年12月末（B）	増減（B）－（A）
自己資本比率	11.43%	11.78%	0.35%
うちＴｉｅｒⅠ比率	9.48%	9.87%	0.39%
基本的項目（ＴｉｅｒⅠ）	948	995	47
補完的項目（ＴｉｅｒⅡ）	194	192	△1
控除項目	－	－	－
自己資本計	1,142	1,188	45
リスク・アセット	9,998	10,083	84

（４）時価のある有価証券の評価差額（単体）

時価のある有価証券の評価差額は、株式の評価差額が増加したことを主因に、平成 24 年９月末比 10 億円増加して 115 億円の評価差額となりました。

評価差額 （単体）　（単位：億円）

	平成24年9月末（A）	平成24年12月末（B）	増減（B）－（A）
有価証券計	105	115	10
株式	△ 3	10	14
債券	107	98	△ 9
その他	1	6	5

（注）記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

（５）預金、貸出金等の状況（単体）

○預金と譲渡性預金の合計額は、法人預金が減少したものの、個人預金の増加を主因に、平成 24 年９月末比 137 億円増加し、２兆 270 億円となりました。
○貸出金は、事業性貸出金が減少したことから、平成 24 年９月末比 174 億円減少し、１兆 4,206 億円となりました。
○預り資産につきましては、公共債（国債等）は平成 24 年９月末比 28 億円減少して 738 億円となり、また投資信託は平成 24 年９月末比 38 億円増加して 583 億円となりました。

（注）記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

① 預金等・貸出金の残高 （末残）　（単位：億円）

	平成24年9月末（A）	平成24年12月末（B）	増減（B）－（A）
預金	19,490	19,279	△ 210
譲渡性預金	642	991	348
預金＋譲渡性預金	20,132	20,270	137
貸出金	14,380	14,206	△ 174

② 個人・法人別預金残高 （末残）　　（単位：億円）

	平成24年9月末（A）	平成24年12月末（B）	増減（B）－（A）
預金合計	19,490	19,279	△ 210
個人	13,675	13,875	199
法人	5,814	5,404	△ 410

③ 預り資産残高 （末残）　　（単位：億円）

	平成24年9月末（A）	平成24年12月末（B）	増減（B）－（A）
公共債（国債等）	767	738	△ 28
投資信託	544	583	38
個人年金保険（注）	745	789	43

（注）個人年金保険は、販売累計額を計上しております。

④ 消費者ローン残高 （末残）　　（単位：億円）

	平成24年9月末（A）	平成24年12月末（B）	増減（B）－（A）
消費者ローン残高	4,058	4,046	△ 11
住宅ローン残高	3,930	3,920	△ 9
その他ローン残高	127	125	△ 2

⑤ 中小企業等貸出金残高（末残）・比率　　（単位：億円）

	平成24年9月末（A）	平成24年12月末（B）	増減（B）－（A）
中小企業等貸出金残高	8,123	8,003	△ 119
中小企業等貸出金比率	56.48%	56.33%	△ 0.15%

以 上